



春はまだかな！

お花見会に全員集合！

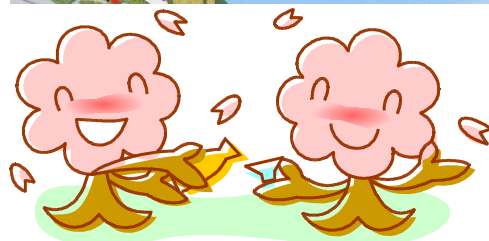
日時： 4月4日（日） 11：00～14：00
（午前11時にはお集まりください。）

場所： 都立狭山公園内
（多摩湖 堤防の下 Wの旗が目印）

会費： 会員 2,000円程度（当日精算）
家族 無料

雨天中止（問い合わせは当日朝7時より 会長小亀394-6951 又は事務局長風間394-5279まで）

会場は新たに整備された多摩湖の堤防の下、狭山公園内です。
（昨年場所と違いますので、ご注意ください。）当日早朝、係が場所を確保します。Wの旗を目印にご参集ください。
満開の桜を期待し、春の一日を満喫しましょう！



会からのお知らせ

○ 4月 定例役員会

日時： 平成22年4月10日（土） 13：00～14：30

場所： サンパルネ・コンベンションホール

15時から雑学講座があります。（別掲参照）

役員会には会員の皆様はどなたでも参加できます。是非お出で頂き、今後の稲門会のありかた等について、ご意見をお聞かせください。

○ 第67回雑学講座

日時： 平成22年4月10日（土） 15：00～16：30

場所： サンパルネ・コンベンションホール

（東村山駅西口駅ビル 新年会と同じ場所）

講師： 住田誠蔵氏（昭和10年兵庫県生れ 一橋大卒 元ローソン常務）

演題： 「本物のテノール歌手の条件とは」

住田氏は一橋大卒業後、山一証券、ローソン、大栄不動産等で企業戦士として活躍、退職後音楽活動を始め、現在川崎市民合唱団に所属。又、オペラにおける「テノール歌手の条件」について独自の理論を展開、昨年9月に「テノール大辞典」を上梓されました。今回の講座では、実例等も紹介して興味深く、「本物のテノール歌手の条件」をお話いただきます。

○ 退 会

有賀 傳 （秋津町） 転居のため 会員数 201名

○ 大学関連の会議

3月5日（金）16時～

校友会・全国支部幹事長・事務局長会議

風間副会長兼事務局長出席

17時30分～春季代議員会

風間副会長兼事務局長・當摩彰子副会長・高鷺幹事
井垣（校友会組織強化委員）出席

○ 他稲門会等出席

東大和稲門会設立総会

3月21日（日）14時～

ビッグボックス東大和

小亀会長・野田幹事出席

☆早稲田大学総長選挙について

白井総長は2期8年の任期を終え今秋に退任されます。それに伴い新たに総長の選挙が行われます。会員の皆様の関心も高いので、総長選挙の概要と日程をお知らせします。

公 示 （4月15日）

決定選挙をする期日を大学が決定し、公示する

選挙管理委員会の設置

学内外19人の委員により構成する

自薦・他薦の総長候補者の届け出を受け付ける

候補者推薦委員会の設置

学内外60人の委員により構成する6つの小委員会を設置する

推薦委員会による総長
候補者の推薦各小委員会が総長候補者3人以上を推薦委員会に報告する
推薦委員会は上位5位までを決定し、総長候補者として選管に報告する

本人の承諾

決定から2日以内に諾否を選管が確認する

略歴・業績書・抱負等の提出

決定から5日以内に選管に提出する

学生による信任投票

投票期間3日間。在籍学生の過半数が不信任の場合は、選管が決定選挙の候補者になるかどうか本人に確認する

決定選挙 （6月15日）

得票数が過半数に達しない場合は再投票

決定選挙

- ① 専任教員全員 ② 専任職員全員 ③ 学外評議員全員
- ④ 評議員会推薦商議委員のうち学外評議員を除いた者全員
- ⑤ 校友会幹事でありかつ校友会選出商議員である者のうち学外評議員を除いた者全員
- ⑥ 校友会各支部長および副支部長のうち上記③～⑤に該当する者を除いた者全員

☆三多摩支部総会11月21日（日）決定

三多摩支部総会は、大学側と日程の調整をしていましたが、このほど11月21日に決定しました。詳細は後日お知らせいたしますが、ご予定をして頂き、多くの皆様のご参加を御願い致します。場所は大学の大隈ガーデンハウスで、新総長もご出席頂ける予定になっています。

☆第10回 大好き東村山写真コンクール 優秀賞に上原正行さん

東村山の出来事や催し、心温まる情景などの作品を募集した「第10回大好き東村山写真コンクール」に当会会員上原正行さん（53・文）の作品が優秀賞に輝きました。上原さんの作品「新しい記念の祭り」は、2月1日号の市報に掲載されていますので是非ご覧下さい。

日本の食糧・農業を考える//食料輸入大国と自給率

平成 22 年 2 月 6 日(土) 於：東村山市ふるさと歴史館
東村山稲門会・第 66 回雑学講座 稲門会会員 池田 孝



戦後日本は高度経済成長のもと『経済力』に任せて食料・農産物の輸入を拡大し『豊食』とも言えるべき豊かな食生活を享受してきました。現在、日本は**世界一の食料輸入大国**(平成 19 年 5 兆 5304 億円)であり、**食料自給率**(供給熱量ベース)は昭和 40 年の 73 %から平成 20 年の 41

%へと下落し主要先進国の中で最低レベルになっております。その理由は、この間、米の消費量が一人当たり 61 kgと半減し、輸入飼料で生育させる牛・豚・鶏等の肉類の消費が倍増し、サラダ油・天ぷら油・マヨネーズ等の原料油脂類の輸入と消費が倍増し、更には小麦の 14 %、大豆も 6 %へと自給率が半減したからです。このことは消費者サイドの食の多角化、洋風化にも因りますが、一方では生産者サイドの**市場競争原理**が働いていなかったことにも因るといえます。このような貧弱な自給率と豊食・放食の時代とはいえ、食品廃棄物は現在およそ 1600 万トン～ 1900 万トンにまで及んでいるのです。

日本は『平均寿命』・『健康寿命』とも世界トップクラスの『長寿国』であります。その一方、少子高齢化社会を迎え、年齢構成も逆ピラミッド形態の構成比の中で、日本の人口は 2050 年には現在の四分の三程度の 9500 万人にまで減少すると予測されております。

農業就業人口も昭和 40 年から平成 20 年の間に 1151 万人から 299 万人に減少し、その内 60 歳以上の高齢者が 70 %も占めておるのです。農家戸数も 566 万戸から 252 万戸へと 45 %減少し、うち『**零細中小兼業農家**』が 85 %、主業農家が 15 %の割合で、日本農業は『**超高齢熟成産業**』と化しております。

農地面積は昭和 39 年の 609 万 ha をピークに現在水田 253 万 ha、畑 212 万 ha の 465 万 ha に減少しておりますが、輸入食糧農産物(小麦・大麦、大豆、トウモロコシ、菜種、及び畜産物等々)に必要な海外作付面積は**我国農地の 2.7 倍**に相当する 1233 万 ha の耕地面積をアメリカ、カナダ、オーストラリア、ブラジル、中国等々に 70 %以上依存せざるを得ない状況です。

このような農業形態と就業構造の劣弱化・疲弊化は地域社会経済や文化の疲弊に繋がり、偏に農家所得の低さと兼業化の進行、農業生産性の低さと国際競争力の弱さ、農地集積と経営規模拡大を阻害する**土地持ち非農家と耕作放棄地**(平成 17 年 39 万 ha)の増大等々、日本の農業経済が抱える『**病根**』や『**政策の貧困**』にも起因していると言えるでしょう。

世界の人口は現在の 65 億人から 2050 年には 92 億人～ 100 億人へとアジア・アフリカの発展途上国を中心に増加する見通しです。地球温暖化による天候不順・旱魃、国家戦略としての食料資源ナショナリズムの台頭などにより穀物の国際価格は上昇基調で推移し、需給は逼迫していくと FAO も警告・注視しております。

わが国は食料輸入の安定した貿易関係の確立(WTO 農業交渉、ODA の有効活用、FTA・EPA へのグローバルな取組と信頼関係の構築)、輸入食料の安全問題、遺伝子組換え作物(大豆、トウモロコシ、菜種等)への対応、農業分野における地球環境への貢献と環境保全型農業への回帰など未だかなりの課題があります。不足の事態に備えた『日本の食糧備蓄制度』も世界の中長期の需給バランスの中で再構築が求められます。

日本政府は『国土保全と食糧安全保障』の根源的な責務があります。今回の【赤松】農政方針は①『**戸別所得補償政策**』と『**食料自給率 50 %**』目標を目指す②農林漁業・農山漁村の**6 次産業化**を推進し、**農業公共事業の抜本見直し**③森林・林業の再生、10 年後の木材自給率 50 %以上を目指す④地球環境への貢献・・・農業・食品分野において温室効果ガス 25 %削減達成への取組、環境保全型農業の促進により里地里山の**生物多様性**を確保⑤国際機関との交渉、政府間交渉を通じ食の安全・安定供給、国内農業・農村の振興などを損なわないことを確保等々を打ち出しております。これらのロードマップもそう容易くは有りませんが、やはり**次世代を担う『専業若手担い手』**の育成と**農地の総量維持管理体制**の明確化などは喫緊の課題であります。一方、中長期政策では国家食料・エネルギー戦略上一層国民に明確で、理解されるグローバルな仕組み作りが求められます。

以上

「雑学講座講師を囲む会」報告

新年からの新たな企画により、お誕生会は原則2ヶ月合同で奇数月の開催となりました。

偶数月の雑学講座のあと、どのような形で会員相互の懇親を図ろうかと、役員会で相談を重ねました。結果、ごく自然に雑学講座出席の会員が、場所を久米川駅前の割烹「丸藤」に移して当日の講師の方を囲み、まだまだ伺いたかった話等、楽しく一杯やりながらするのはどうか、との一応の結論をみました。

そして2月6日(土)、当会会員、池田孝氏による第66回雑学講座「日本の食料・農業を考える」の終了後、午後5時より「囲む会」が開始されました。

参加者は18名。私は内心「やったあ」と叫びました。お誕生会では南湖幹事が丁寧な招待状を発送下さり、出席者のお返事もあらかじめいただけるので、大まかな出席数が判っています。しかし今回は全くの未知数。でもそこは我が東村山稲門会。小亀会長の熱意溢れる案内葉書、そして南湖幹事の「丸藤」との連絡調整と、初めての試みを支えるガッツが「囲む会」をこの上なく楽しい催しにしてくれました。

マンツーマンで伺う日本の食の問題は、ずっと台所から生活者の目で見えてきた私には改めて納得出来る事が多々あり、池田講師のお話は、機会があれば再度雑学講座で学びたいと思いました。

ところで、会員の皆様は早稲田での学生時代に「溜まり場」の店がありましたか。私は、東村山稲門会にとって、「丸藤」はまさに「溜まり場」の店であることを実感しました。これからはたとえ雑学講座への出席ができなくても、2ヶ月に一度、午後5時に「丸藤」に集まり、あの青春の日に戻って語り合いませんか。

今後の予定は、東村山稲門会ニュースにてご確認ください。

(當摩 彰子 記)

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫 TEL 309-3407
土橋 雄次 393-5708

第18回ウォーキングの会「築地から佃島、月島へ」を下記要領で行います。

事前の申し込みは不要ですので、当日ご都合のつく方のご参加を歓迎します。

雨天の場合は中止。

- 1) 集合日時: 3月27日(土) 午前9時30分
- 2) 集合場所: 東村山駅西武新宿方面行きホーム中程
- 3) 行程: 東村山—高田馬場(東西線・茅場町乗換え)—築地より
魚市場—本願寺—佃島渡船の碑—帆船・明治丸—さくらの散歩道
—月島通り—勝鬃橋—築地
(歩行時間: 約3時間プラス見学、昼食)

今回は月島のもんじや通りでの昼食をお奨めします

参加費無料、但し交通費、昼食、飲み物は各自負担。小雨の場合は8時半までに高橋宛お問い合わせください。



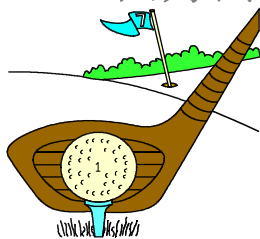
第17回ウォーキング記(1月30日)

1月は後半、肌を刺すような寒い日が続いていたが、当日は春を思わせるような、暖かい好天に恵まれ、絶好のウォーキングとなった。参加者の普段の心がけであろう。コースは井荻駅から出発したが、妙正寺公園まで環境の整備された遊歩道が続いていて快適であった。今川家ゆかりの広大な観音寺、1万坪の敷地を持つ井草八幡をたどり、水鳥の遊ぶ善福寺公園でのんびり昼食を取ったあと、東京女子大を通過して西荻窪駅まで、半日のコースだった。

(高橋記)

参加者: 青山、小林、高橋、土橋、額田、松永、松沢、町田、三宅夫妻(敬称略)

ゴルフ同好会



世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934

第27回東村山稲門会春期ゴルフコンペご案内

さあ皆さん、ゴルフシーズンのいよいよ幕開けです。

第27回東村山稲門会「10春季ゴルフコンペ」を下記の予定で開催いたします。コースはおなじみ「西武園ゴルフ場」です。

春眠暁を覚えずも心配無し、近くて、花見が出来て、コースの状態も素晴らしい我がホームコースで、シニアゴルフライフをたっぷりたのしみましょう。当日幹事は前回優勝の紅松さんとブービー賞の井垣が務めます。

レディスの参加も増えてきました。賑やかにいきましょう。参加申し込みは世話人までご連絡ください。ご家族も勿論オーケー、知人・友人のゲスト参加も歓迎です。

記

開催日・コース：平成22年3月26日（金）西武園ゴルフ場（所沢市）

スタート時間：9:45～アウトコース 4組

参加費用：プレー費15,000円（昼食付き）70才以上税分900円引

パーティー・賞品代 4,000円

参加者には別途、実施要領をお届けします。

麻雀同好会

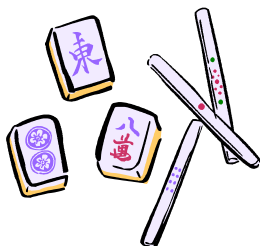
世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621

第50回大会を下記要領にて開催します。

先にご案内の如く、今回は第50回の節目の大会として、盛大に行いたいと思います。今迄、武運拙く優勝を逃がしてきた方は是非狙い、そして経験者は更に記念となる優勝カップ（今回は取り切り戦ではありません）に名を刻むべく、お互いに「運」と「力」を信じて、皆さん賑やかで楽しい会になることを願って居ります。尚、今回は50回記念として全員に記念品を用意します。

奮って皆様のご参加をお待ちします。

記



日時：3月14日（日）

集合：12時10分

開始：12時30分

場所：マージャンM TEL 397-5228

本町4-12 アメニテイパレス B1F

会費：7,000円

締め切り：3月10日（水）

開催日まで時日がありませんし、雀卓人数の都合もあり、是非早めにお申し込み下さい。

（松永記）

郷土史の会

世話人 江藤 昌明 TEL 391-4076
伊藤 友己 398-1352



郷土史の会の本年1回目の会合は、1月30日に多摩湖町にある「八国山たいけんの里」の見学を行いました。「八国山たいけんの里」は縄文時代の代表的な低湿地遺跡である「下宅部遺跡」の出土物を収蔵し、狭山丘陵の自然の中で「人と自然との関わり」をテーマに昨年5月に開館した施設です。西武園駅に集合した後、「下宅部遺跡はつげんのもり」を見学し、「八国山たいけんの里」では通常公開していない2階の収蔵庫、学習室、特別収蔵庫を学芸員の石川さんのご案内で見学致しました。また1階の展示室ではガイドボランティアの西山さんに、東京都の文化財に指定された縄文時代の漆製品を中心に説明をして頂きました。

出席者は小亀夫妻、當間（昭）、當摩（彰）、滝川、中村（真）、江藤、伊藤、それに会員のご友人2名の10名でした。

次回は4月の末に正福寺について改めて勉強してみたいと思います。「ふるさと歴史館」で学芸員より説明を受けた後、現地を見学したいと思います。

園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033

1月28日(木)に今年最初の園芸の会で、この時期恒例のさくらそうの芽とさぎ草の球根の交換会を行いました。出席はいつものメンバーを中心に総勢15名。

このところのへんてこな気候のせいで、サギ草は全滅でしたとか、さくらそうの芽が秋に出てしまいましたなど、理解しにくいこともたくさんあったようですが、それでも藤澤リーダーに新しい品種を紹介していただいたりして、多くの種類のさくらそうとさぎ草の交換ができました。皆さん、がんばって美しい花を咲かせましょう。

次回は下記の日程で、交換したさくらそうの開花株を持ち寄って品評会を行います。また、神代植物園でのさくらそう展覧会に出かけることも計画しております。多くの方の参加を期待しております。



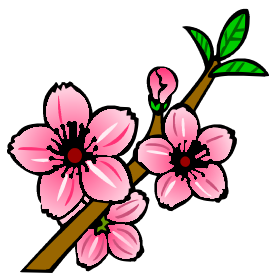
記

日時 平成22年4月13日(火) 午後3時～5時
場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

さくらそう鑑賞会 於 深大寺内神代植物園
平成22年4月20日(火) 午前11時
JR三鷹駅南口小田急バス、調布駅行きバス停前集合

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井 垣 和 太 TEL 04-2924-2934



第48回「稲酔」俳句会が2月26日(土)に行われましたが、3月号ニュースの締め切り日との関係で残念ながら報告が間に合いません。

偶数月第4土曜日を定例開催日としているため、編集局に無理をお願いして駆け込みで記事をお送りしていますが、これも季節に合わせた会員諸氏の句の俳句をニュースに載せ、東村山の時(とき)の香りを漂わせた一心からですのでお許し下さい。(俳壇はどなたでも投句出来ます。)

ところで、前回から参加の出田邦博(麦踏改め麦穂)さん(S45文)は短歌も嗜まれておりますが、2月3日(水)付毎日新聞全国版の「毎日歌壇」伊藤一彦・選に見事入選、掲載されました。また、東村山の月刊ミニコミ紙「暮らしの新聞」2月1日号紙上でも～短歌随想～が掲載されています。

九十を越えて元気な恩師の字

年に一度の賀状を拝む

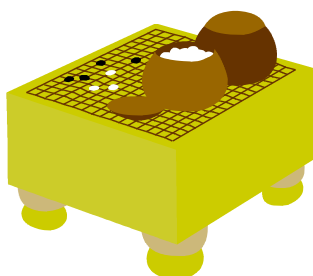
出田邦博

おめでとうございます。31文字と17文字の同根文芸をどのようにこなしていけるか楽しみです。

第49回「稲酔」俳句会は、4月24日(土)開催予定です。詳細は次号でご案内します。

囲碁同好会

世話人 福 田 晃 近 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●「第20会冬季囲碁大会」が、2月20日(土)、市民センター別館第5会議室で開催されました。参加者13名。A、Bの2グループにわかれ、リーグ戦で行われました。両グループとも大混戦でしたが、Aグループは福田さんが、Bグループは丸本さんが見事優勝されました。これにより、次回は福田さんが8段、丸本さんが2段で出場していたことになります。

<参加者/敬称略> Aグループ…福田・鈴木・高鷲・堀田・野村・八木
Bグループ…阿部・丸本・江藤・佐野・中川・一色・田島

○次回の例会は4月です。詳細は次号の「ニュース」でお知らせします。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



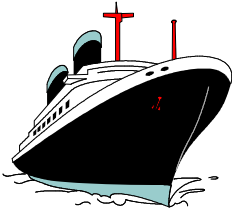
今年初の例会を2月6日開催。採点ゲームも行い、高得点が得られるかを皆で話し合い、中々貴重な時間を得ることが出来たと感じました。

参加者は井垣氏、井手氏、高部氏、滝川氏、南湖氏、内藤の6名で盛会な一夜でした。

(今後の予定)

3月6日 (土) 17:10 カラオケランド ズー

4月10日 (土) 17:10 カラオケランド ズー



クイーンのささやき

大内 一男 (S46年 社学)

昨年、2009年11月27日(金) 久しぶりにN証券のS君から携帯に着信。開口一番「先輩の予言あたり！」という。彼は早稲田大学の同じゼミの後輩で年何回か会う機会がある。その度、極小投資家の端くれの一人として、証券会社でチーフストラテジストを務めている彼の相場観を聴くのが私の楽しみの一つであった。

何の話か戸惑っていると、ドバイ政府の政府系企業「ドバイワールド」と関連の不動産会社「ナキール」の資金繰り問題をきっかけに欧州、米国そして日本のマーケットが大荒れとのこと、所謂ドバイショックである。

そして2年ほど前、彼に話したことを思い出したのである。

2007年の中ごろのある日、私の目は朝日新聞の小さな記事に吸い寄せられた。「イギリスの豪華客船クイーンエリザベスⅡ世号～余生はドバイで洋上ホテル」の見出しで、ドバイワールドが英国海運会社キューナードライン社から1億ドル(約123億円)で同船を購入し、ドバイ沖の人口島に停泊させ豪華ホテルとして使用されるという記事だった。

クイーンエリザベスⅡ世号は39年間の歴史で大西洋を806回横断、250万人以上の乗客を運び、これまでにエリザベス女王をはじめ、チャールズ皇太子、故ダイアナ元皇太子妃など英国王室関係者のほか、女優エリザベス・テラーや俳優ポール・ニューマンなども乗船した人気の名物船である。

しかし私にとっては所有者周辺に、苦難が迫っている事をそっと教えてくれる神秘的な船なのである。

さかのぼること約20年前1988年、我が西武セゾングループはグループとしての最盛期を暗示するかのよう、英国のグランドメトロポリタン社から2,880億円でインターコンチネンタルホテルを買収。翌1989年には横浜市制100周年、開港130周年を祝した横浜みなとみらい博覧会開催中、横浜港大栈橋でクイーンエリザベスⅡ世号を借り受け洋上ホテルとして営業したのであった。その名もQE2プロジェクト。しかし一泊38万円のルームだけではないが、やや高額な宿泊施設はいかに日本が元気な時代といえども、部屋が埋まりきらず予想外の苦戦を強いられ、結局同プロジェクトは赤字であった。

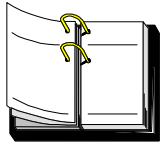
そしてこの年は後々語り継がれる様々な歴史的出来事が起こった年であった。曰く天安門事件、ベルリンの壁の崩壊、そして熱にうかされたように、ソニーによるアメリカのコロンビア映画の買収、三菱地所によるロックフェラーセンターの買収のようにジャパンマネーが世界を買い漁った年でもある。そして12月29日、東証の大納会で日経平均株価38,915円87銭の高値をつけたのである。バブルの頂上であった。翌年から株価は下落へ転じさしものバブル景気も崩壊へ向かい長い低迷の時代を迎える事になったのは周知の通りである。

古代ギリシャには、破局を表す言葉が二つあった。一つはカタストロフィで、順調に進行していたものが急に下方へ(カタ)転ずる(ストレフォ)ことをいい、もう一つは上方に(アナ)に暴走を続け、ついに転覆するに至るアナストロフィである。振り返ると我々は、アナストロフィの典型を経験したのだと思いたるのである。

私の感覚の中でドバイワールドによるQE2の買収というニュースがどういう論理の中で捉えられていたかはご理解いただけたであろう。その話をS君は覚えていてくれたのである。

S君は言う、株屋の予測は当たらないが実体験に裏づけられた感覚による、素人の予測はバカにならないとのこと。

最近、新聞・TVやネットで「西武百貨店有楽町店閉店」「ドバイ政府がQE2をついに売却の意向」というニュースに触れるにつけ、誰かのささやく声が私の耳元でこだまするのである。“Be careful.”

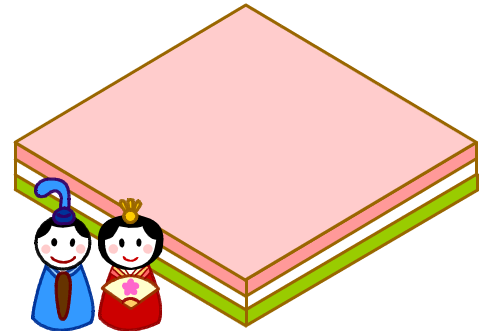


今月の行事（3月）

- 6日（土） 3月度役員会
3,4月度お誕生会
カラオケ同好会
8日（月） テニス同好会
14日（土） 麻雀同好会
26日（金） ゴルフ同好会
27日（土） ウォーキングの会

4月前半の予定

- 4日（日） お花見会
10日（土） 4月度役員会
雑学講座
カラオケ同好会
13日（火） 園芸の会



編集局だより

○當間昭治副会長 「自治会フォーラム」でパネラーを務める

この催しは去る2月6日中央公民館ホールで自治会関係者を対象に東村山市主催で行われ、市の関係者はもちろん近隣からも参加者が多数ありました。渡辺尚市長の趣旨説明に始まり、入会率100%の立川大山自治会の模範事例を紹介する女性会長の講演のあと、パネルディスカッションになりました。

コーディネーター渡辺市長、コメンテーター大山自治会長、パネラーは野口町1丁目のベテラン自治会長経験者、美住町1丁目第2のこれも経験豊富な女性自治会長に、わが新進気鋭の久米川町3丁目當間昭治自治会長の3名で「自治会活動の活性化や問題点」が論議されました。各パネラーそれぞれよどみなく、共感できる点が多々ありました。とくに、當間自治会長のプレゼンはエピソードを交えて説得力があり、「未加入者をいかに減らすか、会員の高齢化にどう対応するかが課題だ」の発言まであって、われわれ稲門会にもつながる課題として印象にのこりました。

（高部素行記）

○次号の原稿締め切りは3月25日（木）です。よろしく願いいたします。

（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

交差点余寒背負ひて渡りけり 丸本 北窓
如月の弁天様の孤独かな 八木 竜湖
春が来て上のボタンを外しけり 栗島 三郎
口紅に日射し重ねて春が来る 井垣 稻雀
暖かや人恋しくて街に出づ 音立てて春の水落つ男坂
押入の一枚羽織る余寒かな 出田 麦穂
（菅田均さん一周忌）
初場所や異国力士のシヨと化し 猫二匹妻の蒲団に凍る夜 風間 和夫
あたたかや老婆の顔もほころびて 鮎酒や一本締めし香り乗せ 菊田 一平
春寒し船尾に祖母の柩置き 氣荒しの少し遅るる柩船 幸田 瑞雄
冬耕や縮む地虫を手のひらに 計報受け梅の淡雪見つめけり 小永井 哲哉
すり足で枯葉が走る歩道橋 ポケットに喪の塩のあり寒の月 高部 素行
熱ありて腰湯で済ます余寒かな 朝刊がポストに落ちて春の床 戸田 梟
土露わ広場に残る雪だるま 雲低し梅一輪の多摩湖畔 内藤 慎
福求め拾いし豆は泥まみれ 勤行の鐘鳴り唸る春一番